

企教推だより

2021年度 第1号

今年度も、企業同士の情報共有や事業の周知のため、年3回の予定でたよりを発行いたします。ぜひ各企業内での啓発にお役立てください。

また、第45回となる企教推総会については、昨年度同様に書面表決とさせていただきました。承認をいただきました事業につきましては、新型コロナウイルス感染症予防対策をとりながら実施していきますので、ぜひご参加いただきますとともに、各企業内での効果的な研修に繋げてください。

企教推・福知山市合同人権研修会（8/2）

本研修会につきましては、2年続けて総会が書面表決となり、予定していた記念講演会が実施できなかったこと、また昨年度、会員事業所において部落差別事象が発生したことに伴い、行政・企業双方が改めて研修を見つめなおし、教育・啓発を推進していく必要性を感じたことから、福知山市人権啓発推進員と合同での開催とさせていただきました。



講師に、大阪企業人権協議会 総合アドバイザー

芦田武雄（あしたたけお）さんをお迎えし、「同和問題の基本的理解と企業の取組み～部落差別解消推進法を踏まえて～」と題してご講演いただきました。

講演では、国・福知山市・兵庫県・大阪府で実施された意識調査結果や実際に起きた差別事象を見ても厳しい状況があることや、人権問題を起こした人の共通の要因として、人権に関して知識がない（無知）、本質理解の認識不足（無理解）、自覚・関心がない（無自覚・無関心）によるものがほとんどであることを通して、差別を見抜く力（感性）が必要であることをお話しいただきました。また、人権研修がめざす方向性として3つのステップがあり、①「知識を学ぶ」何が差別か基準を学ぶ・実態を知る。

②「感性を磨く」気づく力・人の痛みを知る。③「実践する」

見逃さない・行動を起こす。をあげられました。

【参加者アンケートの感想】

- ・偏見から差別へのメカニズムをわかりやすく説明いただいた。また、企業としての具体的な取組やめざす方向性の指針となり勉強になりました。
- ・同和問題に関しては、理解していると思っていましたが、本日の講義を聞き、今の現状、ハラスメント問題など再認識しました。最後のまとめにあるように実践・行動につながるよう自身の家庭、会社内で努めていけたらと思います。

《事務局からのお知らせ》

- ★今年も6月から巡回DVD研修に取り組んでいます。スムーズにDVDが巡回するように、みなさまのご協力をお願いします。また、研修終了後はアンケートの提出をお願いします。

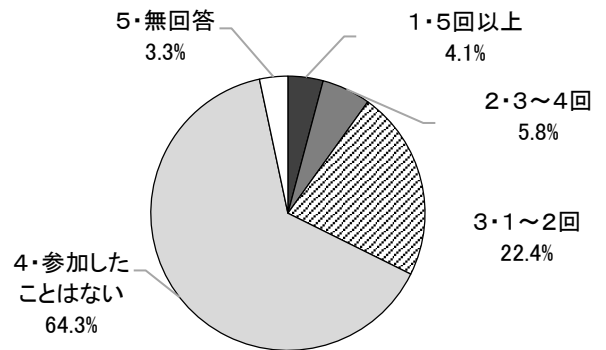
人権侵害に対する市民の意識について PartIV

2019（令和元）年8月に福知山市が実施した「人権問題に関する意識調査」の結果から、前年（2020年）度より企教推だよりに順に掲載していますが、今回は人権啓発に関する講演会・講座への参加状況などについての調査結果を掲載します。

問. ここ2～3年のうちに、あなたは人権啓発に関する講演会などに参加されたことがありますか。

人権啓発に関する講座に、1回でも参加した人の割合は全体の約32%、参加したことはないと回答した人は約64%でした。

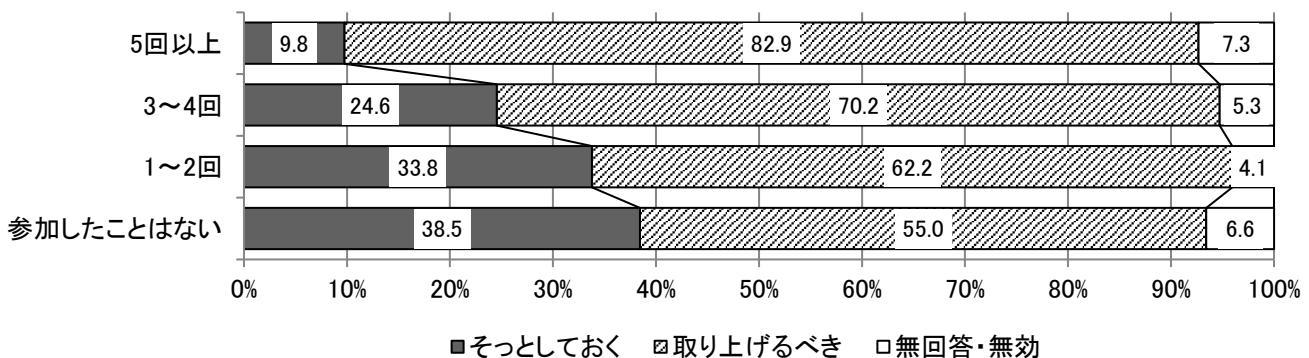
また、人権講演会・講座への参加状況と、下記の別問※で「差別を取り上げればかえって問題が解決しにくくなる」と回答されている方とのクロス集計結果を見ますと、講演会等に参加した回答数が多い人ほど「差別問題を取り上げること」に対して肯定的な意見をもっていることがわかります。



（別冊「ひろげよう！人権の輪」P4参照）

※別問「差別を取り上げれば、かえって問題が解決しにくくなる」という質問に対して、差別を取り上げること

★「差別を大きく取り上げれば、かえって問題が解決しにくくなる」の回答と、人権講演会・講座への参加状況の比較



問. 人権問題についての理解や認識を深めるには、あなたはどのようなことが役立つと思われますか。

1. 「小・中学校など学校での人権教育」 53.9%
2. 「お住まいの地域で行われている研修会、講演会、人権啓発イベントなど」 33.3%
3. 「ラジオ・テレビ」 31.4%
4. 「勤務先の職場や職種・業界団体などによる研修会、講演会など」 30.4%
5. 「府や市などの広報紙、冊子」 25.2%

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済に大きな打撃を与えただけでなく、新たな人権課題が表面化するなど、安心して生活することが難しいと感じるようになりました。「人権」は一度学べば終わりというものではありません。身近な問題を見つめなおしてみる、決めつけてしまわずいろいろな角度から考えてみるなど、常に人権感覚を磨いていくことで、新たな課題に直面した時にも反応できると思います。今後も、いろいろな人の講演や意見を聞いたり、資料を見ることで、自分自身の意識を高め、共に幸せを生きるまちを築いていきましょう。